

P06

ダイクロイックミラーを用いた複眼望遠鏡の開発

兵庫県立大学大学院 理学研究科
修士1年 石原稜也

- 大口径の望遠鏡は建造コストが非常に高い。安価に集光力を獲得する工夫の1つとして、複眼望遠鏡が提案された（宮脇 神戸大学修論 2008）。

複眼望遠鏡

対象天体を複数の小型望遠鏡で捕らえ、それぞれの望遠鏡からの光を、光ファイバーを介して一つの光束にした後に分光する観測システム

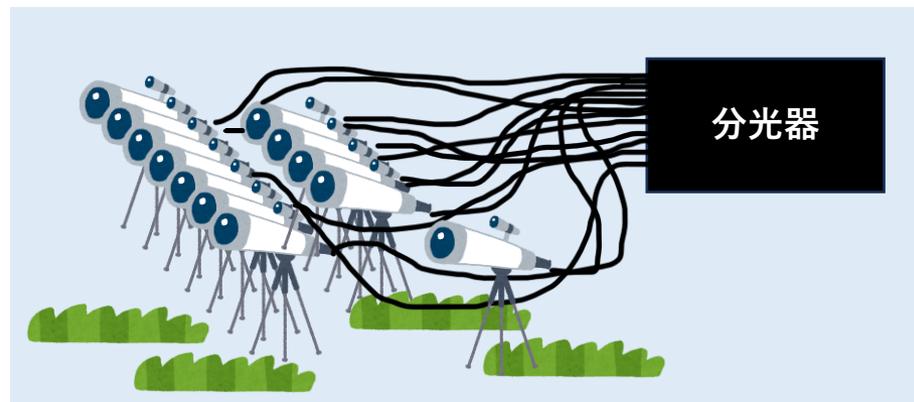


図1. 複眼望遠鏡のイメージ
各鏡筒は個別の架台に取り付けている

- 本研究では、望遠鏡とファイバーを中継する装置について、**ダイクロイックミラー**を用いて、図2のような設計を行なった。
- 対象天体の光は特定波長のみ透過され、焦点面に設置されたファイバーへ導かれる。ミラーの反射帯にあたる光は直角に跳ね上げられ、ガイドカメラへ導かれる。
- ポスターでは、1台の望遠鏡における試験観測の結果や改良案について考察する。

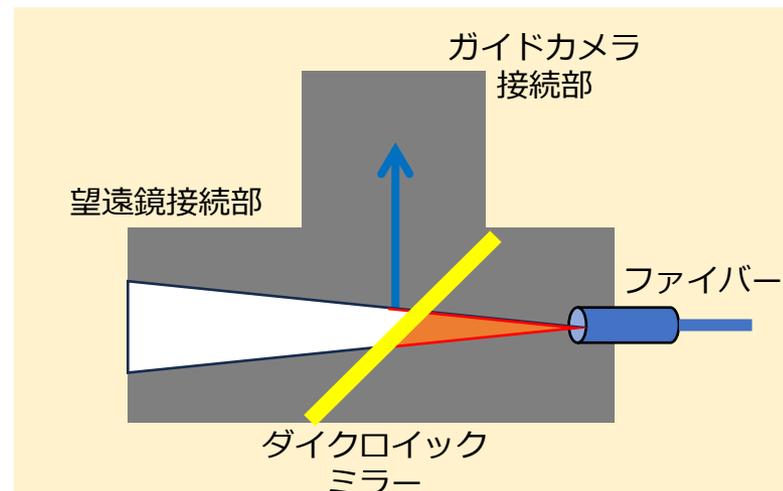


図2. 本研究の装置の光学系